



社会情報学部の共通科目【2009年度】 社会情報学科・コミュニケーション学科

※下記は平成21年度開講予定の科目で、平成22年度以降、変更の可能性があります。

- 必修科目……必ず修得しなければならない科目です。
- 選択必修科目……所定の単位数以上の科目を履修し、修得しなければならない科目です。
- 選択科目……自由に選択し、履修することができる科目です。
- ◆ 英語副専攻対象科目

		科 目	内 容
共通科目	現代教養科目	■ 哲学	〈死・愛・幸福・他者・生きがい〉という「善く生きる」ための主題と思想を紹介し、その内実と視点を探ります。
		■ 論理学	事実関係を正確に把握し、結論を推理・論証するための、基本的な法則と方法を学びます。
		■ 日本文学	日本文学(古典から近代)の主な作品を取りあげ、日本文学の特色とその変遷を探究します。
		■ 比較文化論	日常の身近な話題を手がかりにしながら、英米文化と日本文化の比較を通じて、「異文化理解」の視野を身につけることに重点をおきます。
		■ フランス文学	フランスの桂冠詩人、ラ・フォンテーヌの「寓話」を読むと、当時の王侯貴族から庶民に至るまでの人間模様を知ることができます。
		■ 心理学	私たちの心の動きや行動を客観的に理解することをめざします。さらに、カウンセリングや心理療法の基礎についても学びます。
		■ 宇宙科学	宇宙の誕生、進化の過程と地球環境との関連性などを理解。銀河系にも注目し、宇宙スケールでの自然界活動を明らかにします。
		■ 法律学基礎	私たちの日常生活の基準となるものが法であり、行政も裁判も法にしがって行われます。このような法の姿を基礎から学び、活用能力の習得をめざします。
		■ 日本国憲法	国家の主人公である国民の権利と自由はどう擁護されているか、そのしくみの現状と問題点を考察します。
		■ 政治学基礎	問題意識として民主主義とは何かということを中心におき、政治的決定のしくみ、日本政治などを取りあげます。
	■ 経営経済学基礎	日本経済に関するさまざまな問題について取りあげます。特にデフレと、デフレが引き起こす日本経済への影響について学習します。	
	■ 社会学基礎	家族、都市生活、企業組織における人々の関わり(その変化)を検討します。また、基礎教養として社会学の巨匠たちにもふれます。	
	■ 西洋思想史	西洋における思想(主として政治思想)の展開過程を検討することによって、現代の議会制民主主義の成立過程を明らかにします。	
	■ 日本政治史	現代の日本を理解するために、日本史の流れをその時の政治体制とそれに大きな影響を与えたものを中心に見ていきます。	
	ジェンダー論基礎科目	■ ジェンダー論I	仕事、健康、宗教、情報、家族、法律などをジェンダーの視点で見直します。これらの領域について異なった講師によるオムニバス講義です。
		■ メディアとジェンダー(ジェンダー論II-1)	女性はメディアにどんな関わり方をしているのかを、私たちを取り巻く情報媒体に目を凝らし、ジェンダーにとらわれないメディアのあり方を考えます。
		■ 女性情報論(ジェンダー論II-2)	現在流通している新聞、テレビ、図書、インターネット情報などを女性の視点で分析し、女性に力を与える情報とするための要因を探ります。
		■ キャリア開発論(ジェンダー論II-3)	女性の仕事は、一時期ではなく長期にわたり管理職や経営者への進出も増えています。キャリアの発展を視野に入れた職業生活について、広い視野から考えます。
		■ 女性とからだ(ジェンダー論II-4)	将来を担う子どもたちの誕生や成長に関わる学生たちが、「女性のからだごころ」について主体的なあり方を考え、世界の動きを学びます。
		■ 女性と起業(ジェンダー論II-5)	先進国のビジネスリーダーや、途上国の所得創出事業まで視野において、日本の女性たちが起業する意義やオルタナティブな生き方を学びます。
		■ フランス女性史(ジェンダー論II-6)	女性論から見たフランス女性を概観します。まず中世から両大戦中のフランス女性について述べ、最後にポーヴォールで締めくくります。
		■ 英米児童文学と女性作家(ジェンダー論II-7)	英米児童文学は女性作家ばかりでは語れません。子どものための本が書かれるようになった18世紀から現代に至るまで、女性作家が描いた少女像を考察します。
	■ 日本文学の中の女性(ジェンダー論II-8)	日本の古典から近現代に至る文学作品を通じて、女性の描かれ方を探ります。それが当時の社会状況をどのように反映しているかを考察します。	
	健康科学 科目	■ スポーツと健康	スポーツという身体活動による人間の心と体の健康への影響など、人間の生命・運動・健康に関する幅広い知識を学びます。
■ スポーツ演習I・II		バレーボール、バドミントン、テニス、ゴルフ、エアロビックダンス、ジャズダンスなどを楽しみ、健康維持や体力・美容づくりを推進します。	
■ シーズンスポーツ		自然との関わりが深いスキーやスノーボードは冬の選択スポーツ。技術を磨きながら、自然の厳しさ、素晴らしさを体験します。	
■ 情報処理演習I		日商PC検定試験(文書作成)3級以上の取得を目標とした、ネットワークや応用ソフトの基礎概念と技能の習得をめざします。	
■ 情報処理演習II		日商PC検定試験(データ活用)3級以上の取得を目標とした、応用ソフトを使う計算処理能力の習得をめざします。	
リテラシー 基礎科目	■ コンピュータ概説	コンピュータの仕組みやソフトウェアについて理解することによって、コンピュータを効果的・効率的に利用できるようにします。	
	■ 情報基礎論	「情報」を多角的にとらえ、その概念や特徴を理解し、情報表現の種類と方法を学ぶことにより、デジタル社会の実像に迫ります。	
	■ 新入生セミナー	自立的・主体的な学習の仕方を学び、大学における学業生活を豊かに過ごせるようにスタディスキルを身につけます。	
	■ 基礎英語I	基礎的な英語の構造についてまとめ、それをふまえて基本的な英文の解釈、英語の構造に合った短文が書けるようになります。	
	■ 基礎英語II	基礎的な英語の構造の理解に重きをおき、英語の音の特徴・リスニングの基礎について学びます。	
外国語科目	■ 基礎英語III	基礎英語Iに引き続き、基礎的な英語の構造を理解することに重きをおき、リーディング・ライティングの練習を行います。	
	■ 基礎英語IV	基礎英語IIに引き続き、基礎的な英語の構造を理解しながら、短い説明文・会話文のリスニングを行います。	
	◆ ホームステイの英語	ホームステイ留学でコミュニケーションできる英語の習得と同時に、海外研修や留学に必要なマナーを学びます。	
	◆ 初級英会話	会話に必要なスキルや、よく使われる言い回しを身につけます。授業ではトピックや特別なことばの文化的背景を中心に取りあげます。	
	◆ TOEIC準備講座	TOEIC演習で、資格試験対策の向上をめざします。	
	◆ TOEFL準備講座	TOEFL演習で、留学試験対策のスコアアップをめざします。	
	◆ 英検準備講座A・B	英語力証明の基準のひとつ、英検に照準を合わせて演習をします。	
	◆ イギリス文化研究I・II	イギリスの歴史、政治、市民生活、文化、日英関係の現状を理解します。イーストアングリアの大学で約3週間の英語研修に参加し、現地家庭に滞在します。	
	◆ アメリカ文化研究I・II	アメリカの歴史、政治、市民生活、文化、日米関係の現状を理解します。ユタ・バレイ州立大学に約3週間留学します。	
	◆ カナダ文化研究I・II	カナダの歴史、政治、市民生活、文化、日加関係の現状を理解します。またクィーンズ大学で約3週間の英語研修に参加します。	
	◆ 初級フランス語I・II	日常会話の習得を目的とし、「聴く」「話す」ことの基本から始めて、実力フランス語の検定5、4級取得をめざします。	
	◆ 初級スペイン語I・II	「読む」「書く」「聴く」「話す」力を基礎から学び、ネイティブとの初歩的な会話をめざします。文法知識もさらに深め、「使える」能力の向上を図ります。	
	◆ 初級中国語I・II	中国の文化や風俗にふれながら、中国語の発音・基本文法などを学び、日常レベルのヒアリングと会話能力を身につけます。	
	◆ リーディング・スキルズ ◆ ニュース・リスニング ◆ インターネット英語 ◆ オフィス英語 ◆ オーラル・コミュニケーション※ ◆ エッセイ・ライティング		
◆ 時事英語※ ◆ シネマ英語 ◆ 観光英語 ◆ ビジネス・ライティング ◆ パブリック・スピーキング	※印:現代社会コースは副専攻対象から除外		

専任講師 飯田 路佳

■ 専門分野:生涯スポーツにおけるダンスムーブメント、ダンスムーブメント指導方法
 ■ 主な担当科目:スポーツと健康、スポーツ演習I・II、身体表現制作ワークショップI・II
 ■ 略歴:1989年筑波大学体育専門学群卒、1993年筑波大学大学院修士課程体育研究科修了。1993年慶應義塾大学、1997年十文字学園女子短期大学、2000年千葉商科大学政策情報学部、2003年青山学院女子短期大学、2005年明治大学経営学部非常勤講師、2006年十文字学園女子大学社会情報学部非常勤講師、2007年十文字学園女子大学社会情報学部講師。

専任講師 設楽 優子

■ 専門分野:英語音声学
 ■ 主な担当科目:基礎英語II・IV、ことばの心的メカニズムB・D、サウンド処理演習
 ■ 略歴:1988年東京外国語大学外国語学部英米語学科卒、1992年University of London (University College London) 音声学修士課程修了、1992年東京外国語大学大学院外国語学専攻科(ゲルマン系言語専攻)修了。1996年十文字学園女子大学社会情報学部専任講師、2003年東京外国語大学外国語学部非常勤講師、2005年成蹊大学文学部非常勤講師。

専任講師 松永 修一

■ 専門分野:日本語学、方言学、社会言語学
 ■ 主な担当科目:文章表現ワークショップI、演習I・II、日本語学I・II
 ■ 略歴:1988年早稲田大学大学院博士課程満期修了。宮崎国際大学専任講師、淑徳大学国際コミュニケーション学部助教授。2007年十文字学園女子大学社会情報学部。

現代社会コース

専任講師 阿部 史

たくさんの人と出会い、視野を広げることが大切です。



消費者問題や情報化社会、現代家族などのテーマを法的な観点から取りあげます。契約書などを用いて生きた法を学ぶほか、裁判傍聴や検察庁見学などを通じて紛争解決の現場を体験します。ぜひ、法という社会のルールはどうあるべきなのかを考える力を身につけてほしいですね。多くの人と出会い、多様な考え方にふれながら視野を広げることが大切です。

■ 専門分野:民法、金融法
 ■ 主な担当科目:民法の基礎、情報化社会と法、消費者と法
 ■ 略歴:2000年慶應義塾大学大学院法学研究科修士号、2004年イリノイ大学ロースクール修士号、2006年慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程満期単位取得退学。十文字学園女子大学社会情報学部。

教 授 亀田 温子

■ 専門分野:教育社会学、女性のキャリア開発、生涯学習論、ジェンダー論
 ■ 主な担当科目:キャリア開発と生活プラン、ジェンダー論I、教育基礎論、社会調査技法II
 ■ 略歴:1976年お茶の水女子大学大学院人文科学研究科専攻修了(文学修士)。1978年文部省社会教育局、1981年十文字学園女子短期大学講師、1996年十文字学園女子大学社会情報学部助教授を経て、2000年十文字学園女子大学社会情報学部教授。放送大学非常勤講師、広島大学教育研究センター客員研究員など。

教 授 田総 恵子

■ 専門分野:政治学、国際関係論、環境問題
 ■ 主な担当科目:生活環境と経済開発、国際政治論、異文化コミュニケーション
 ■ 略歴:1985年東京外国語大学大学院修士課程修了(国際関係論修士)、1992年コロンビア大学大学院博士課程修了(政治学博士)。1993年オーストラリア国立大学講師、2004年十文字学園女子大学教授。

教 授 橋本 ヒロ子

■ 専門分野:男女平等政策、女性情報
 ■ 主な担当科目:国際協力論、ジェンダーと開発、女性情報論
 ■ 略歴:1982年カリフォルニア大学バークレー校情報図書館学修士課程修了。広島大学付属図書館参考調査係主任、国立婦人教育会館情報交流課長、国連アジア太平洋経済社会委員会開発と女性課社会問題担当官。1996年十文字学園女子大学社会情報学部。

准 教授 大友 由紀子

■ 専門分野:家族社会学
 ■ 主な担当科目:結婚と家族、ライフコースと生活設計、社会調査技法I、社会調査技法II
 ■ 略歴:1994年成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻修士課程後期退学。1994年成城大学民俗学研究所研究員、1996年十文字学園女子大学社会情報学部専任講師。

准 教授 川口 英俊

■ 専門分野:政治学、日本政治論、比較政治学
 ■ 主な担当科目:生活と議会政治、少子高齢化と政治
 ■ 略歴:1996年慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻後期博士課程単位取得退学。1996年十文字学園女子大学社会情報学部専任講師。





社会情報学科 デジタルテクノロジーコース 科目一覧【2009年度】

※下記は平成21年度開講予定の科目で、平成22年度以降、変更の可能性あります。

■ 必修科目 ■ 選択必修科目 ■ 選択科目

※ビジネス情報コース、マスメディアコース、現代社会コースの科目を選択することもできます。また、人間生活学部の中から履修できる科目もあります。

1年	■ ソフトウェア基礎	コンピュータの仕組みをもとに、ソフトウェアの仕組み・考え方・書き方(フローチャート)を学びます。
	■ ハードウェア基礎	コンピュータシステムを構成する種々のハードウェアの基礎的な構造と動作について理解します。
	■ プログラミング入門	プログラミングの基礎として、プログラム言語のC言語を使いプログラムの基本構文から関数の作成までを学びます。
	■ 通信ネットワーク基礎	高度情報社会を支える基盤のひとつである通信技術と設備の概要、ネットワークの基礎について学びます。
	■ 情報の数学	情報科学で必要とされる数学の基礎を学びます。
	■ コンピュータのしくみと動作	コンピュータの心臓部であるCPUの基本的な動作の仕組みと高速化技術について学びます。
	■ データベース入門	データベース構築に必要なデータの整理法などの理論や方法、データベースの意義について学びます。
	■ アルゴリズムとデータ構造	アルゴリズムとは問題の解法のこと、コンピュータプログラム用のアルゴリズムの考え方を学びます。そこで扱うデータの構造やプログラムとの関係も学びます。
	■ ネットワークコンピュータ基礎	コンピュータの基本システムであるオペレーティングシステムに関する基礎的な知識を修得します。
	■ プログラミング初級	C言語を用いたプログラミングとプログラム開発過程の基礎を体得します。
	■ インターネット	インターネットの概要と仕組みについて学び、インターネットの利用と活用方法を習得していきます。
	■ デジタル色彩基礎	デジタル画像に関する基礎知識を修得、さらにコンピュータでのデジタル画像利用・活用方法について学びます。
	■ コンピュータグラフィックス基礎	図形の作画から修正・加工など2次元画像の作成方法を習得していきます。
2年	■ UNIX演習	汎用コンピュータからパソコンに至るまで利用されているオペレーティングシステム「Linux」の操作を学びます。
	■ ネットワーク設定技術	コンピュータをネットワークに接続する際に必要となる知識と技術について学びます。
	■ ネットワーク設定演習	コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について体得していきます。
	■ オブジェクト指向入門	比較的新しく、実世界に近いプログラミングの方法「オブジェクト指向」について学びます。
	■ Java基礎	ネットワーク時代のプログラミング言語である「Java」を使ったプログラム作成を通じて、Javaの基礎を学んでいきます。
	■ Visual Basic基礎	代表的な言語である「Visual Basic」の基礎的・基本的な文法を学び、簡単なプログラムを作成していきます。
	■ C言語中級	「C言語初級」の内容を発展させ、より高度なプログラミング技術を身につけていきます。
	■ ホームページとスクリプト	ホームページ作成の基本的な技術と理論やスクリプト言語を学び、ホームページ作成ができることをめざします。
	■ マルチメディアと画像	コンピュータで、文字、画像、映像、音声情報を一体化して取り扱う技術をマルチメディアといい、マルチメディアの特性、技術、情報、人間との関係を学びます。
	■ 3次元CG演習	さまざまな分野で利用されている3次元(3D)CGの作成方法を習得していきます。
	■ 情報とセキュリティ	インターネットを利用する際に知っていなければならないセキュリティ技術であるデータの暗号化、個人認証、アクセス制御などの技術を習得します。
	■ データ解析基礎	パソコンを用いた演習を通して、データ解析に必要な統計の基礎知識と解析技術を身につけます。
	■ DBプログラミング基礎	ネットワークを介したデータベースシステムにおいて、データ検索側からのデータベースプログラミングを学習します。
■ システム設計入門	ソフトウェアを開発するための要件定義、仕様、実現、試験、稼働、保守の基礎を学びます。	
■ Java応用	「Java基礎」をもとに、Javaの特性を活かしたプログラミング技術を学んでいきます。	
■ Visual Basic応用	「Visual Basic基礎」の内容を発展させ、より高度なプログラムの制作を実習します。	
■ C言語上級	「C言語中級」で学んだ知識をもとに、オブジェクト指向言語C++を用い、実用的なプログラム能力を身につけます。	
■ デジタルビデオ編集	デジタルビデオで撮影した画像はコンピュータで編集することができます。撮影・制作の演習を通してデジタル画像の編集技術と効果的な情報表現を学びます。	
■ サーバOS設定演習	ネットワークサーバ構築の際に必要な各種の設定や操作について実習していきます。	
■ デジタルアニメーション演習	ホームページやマルチメディア制作物では、アニメーションを利用した表現が多く見られます。演習を通してアニメーションの作成技法と表現技法を学びます。	
■ 新しいホームページ	ホームページの作成技術は日々進歩しています。効果的に情報を扱うために、ホームページに関連した新しい技術やその応用分野での制作を行います。	
■ プレゼミ	デジタルテクノロジーコース教員のゼミに所属し、教員が担当している「演習」および「卒業研究」に備えるための演習となっています。	
3年	■ 情報と法律	ネット上の権利侵害や違法行為、マスメディアでのプライバシー侵害の実例を知り、ネットワーク社会における基礎的な法律を学びます。
	■ データ解析応用	多変量解析技法の概要を学び、さらに実データへ適用する演習を通して、各種技法の特徴やその利用方法を学びます。
	■ DBプログラミング応用	ネットワークを介したデータベースシステムにおいて、データ管理側からのデータベースプログラミングを学習します。
	■ システム設計基礎演習	ソフトウェアを開発するための要件定義、仕様、実現、試験、稼働、保守の各作業を体験します。
	■ COBOL基礎	事務処理向き言語である「COBOL」を使ってプログラミング演習を行うことによって、プログラム設計能力を習得します。
	■ ネットワーク管理基礎演習	ルータ設定演習によって、ネットワークを設計・構築していくうえで必要不可欠なルーティング技術について学びます。
	■ サーバ設定実習	Webサーバとファイルサーバ構築方法と各種の設定技術について学びます。
	■ Web動画演習	ブロードバンド時代の到来により、ホームページを利用した動画配信が普及しています。ホームページの特徴を活かしたWeb動画の作成法、配信方法を実習します。
	■ サーバサイドプログラミング基礎	CGIに代表される高度なホームページ配信技術であるサーバ(配信)側でのプログラミング技術を学びます。電子掲示板作成などの基礎的事柄を学習します。
	■ DBプログラミング活用	ネットワークを介したデータベースシステムにおいて、実社会で使われているシステムに即し、実用的なシステム全体を学びます。
	■ システム設計応用演習	オブジェクト指向の考え方に則して、その特徴を活かした実用的なソフトウェアの設計からプログラミングまでを学びます。
	■ ネットワークセキュリティ	ネットワークセキュリティの基本となるファイアウォールの設定実習を通じて、ネットワーク管理者として必要な知識と技術を習得します。
	■ マルチメディアコンテンツ制作	DVD、CFや映画などマルチメディア制作物の利用は大きな可能性を秘めています。社会で利用できるコンテンツ制作を通して、実践的な技術を習得します。
■ サーバサイドプログラミング応用演習Ⅰ・Ⅱ	CGIに代表される高度なホームページ配信技術であるサーバ(配信)側でのプログラミング技術を学びます。さまざまな情報システムに応用可能な技術を学びます。卒業研究の準備でもある演習では、各自がテーマを設定、資料・文献調査・技術習得を通じて研究を行います。	
■ インターンシップ	キャリア開発の一環として企業、公的機関、NGOなどで2週間程度の就業体験をします。	
■ キャリアサポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ	多様な領域で活躍する社会人から、仕事について・生き方について直接話を聞くと同時に、SPIなどで就職に向けた基礎力をつけます。	
■ オフィスワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ	現代のオフィスワークに必要な不可欠なワープロと表計算能力を養います。日商の検定試験合格者には所定の単位が認定されます。	
■ システムエンジニアリング	SE・プログラマ資格である基本情報技術者資格取得のための対策講座です。合格に向けての勉強の仕方やノウハウを解説します。	
■ システムアドミニストレーション	企業の中でのコンピュータ活用の要となるITパスポート試験突破のための対策講座です。	
4年	■ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	興味のあるテーマを選択し、まとめ、発表します。



社会情報学科 ビジネス情報コース 科目一覧【2009年度】

※下記は平成21年度開講予定の科目で、平成22年度以降、変更の可能性あります。

■ 必修科目 ■ 選択必修科目 ■ 選択科目

※デジタルテクノロジーコース、マスメディアコース、現代社会コースの科目を選択することもできます。また、人間生活学部の中から履修できる科目もあります。

コース必修科目	■ 経営学基礎	商品やサービスを生産し人々に提供する企業は、現代社会において重要な役割を果たしています。私たちが働く企業のしくみや活動について理解を深めます。
	■ ビジネス経済学	経済学の基礎を理解し、現実に応用できるようにします。特に、マクロ経済学を中心に学習します。
	■ 統計学基礎	ビジネスに必要な統計の知識をわかりやすく学習します。
	■ 経営情報システム	企業経営において情報システムをどのように活用しているのかを学習します。特に、経営戦略の立案方法やシステム設計について、講義と演習を行います。
	■ 会計学基礎	企業会計に必要な財務諸表の作成について学習します。また、税効果会計などの新しい会計制度についても取り扱います。
	■ 簿記演習1基礎・応用	問題を解きながら、基礎的な商業簿記および記帳、決算等に関する初歩的な実務を理解します。
	■ 簿記演習2基礎・応用	簿記の基礎を学んだ人たちがその能力をさらに高めることができるように学習します。また貸借対照表および損益計算書等の決算書に対する理解を深めます。
	■ 経営のためのデータ解析Ⅰ・Ⅱ	マーケティングや商品開発の需要予測に役立つ時系列データ分析の基礎を学びます。変動要素、移動平均法、指数平滑法、最小二乗法(直線トレンド)などです。
	■ インターネットビジネス	インターネット上で展開されるビジネスについて、そのシステム、マーケティング方法などを解説します。
	■ 情報倫理	名誉とプライバシー・ネット犯罪・著作権侵害・セキュリティなど情報社会の負の部分を検証し、リテラシーを涵養します。
	■ ビジネスと女性	経営者としてのビジネス、また、キャリアとして企業で働くなど、実際にビジネスの現場で活躍する女性たちの事例を研究し、女性のビジネス実践について学びます。
	■ 企業戦略論	企業が競争に勝ち抜くために、いかに価値ある商品を製造し、それらをいかに販売するかを具体的に学習します。
	経営科目	■ 運営管理論Ⅰ
■ 原価計算論		原価計算の特徴・目的および原価の流れを理解し、かつ費用別原価計算、部門別原価計算、製品別原価計算ができるようにします。
■ 簿記演習3		簿記演習1・2で学習したことをふまえ、工業経営における財務諸表を作成する能力を養い、日商簿記検定2級の合格をめざします。
■ 企業情報システムⅠ・Ⅱ(経営学演習)		ビジネスの流れと簿記会計の関連性をコンピュータ演習によって体験します。そこで使われるソフトは、世界の企業で最も使われているSAP社のもので、
■ 国際ビジネス実務		市場のニーズに対応し顧客満足度を高めるための戦略としての製品政策や広告政策などを学習します。
■ ブランド戦略論		ブランドビジネスの実態を具体例をあげながら学習します。
■ 国際経営論		経営のグローバル化により生じた問題を歴史的に分析し、今後の企業社会で起こる問題を学習します。
■ 企業の危機管理		日本企業が直面するさまざまな危機にどのように対応してきたかを具体例を中心に学習します。
■ 企業倫理		企業を見る眼を養うとともに企業人、社会人としてどうあるべきか、どのように行動すべきかを理解し、自らのビジネスキャリアの構築につなげます。
■ コーポレートコミュニケーション		企業のコミュニケーション活動の中で広報活動などの対外的なものと同様に従業員などに対する対内的コミュニケーションを中心に学習します。
■ ビジネス実務法務Ⅰ・Ⅱ		ビジネスの現場で必要とされる実務に関わる法律を具体的に学習します。
■ 貿易実務		貿易に関する業務を実際にたずさわってきた人から直接聞くことにより実践的な学習をします。
■ 問題解決技法		人は自らが人生の経営者といわれます。さまざまな局面で遭遇する問題を発見し分析し解決を迫られる場合に、系統的に問題を処理する手段を学びます。
■ 意思決定手法Ⅰ・Ⅱ	多くの条件の中で日常生活や仕事で何かを決定しなければならない局面におかれた時、最適な方法を見出す手段について学びます。	
■ 需要予測とシミュレーション	経営のためのデータ解析で学んだ基礎に基づいて、時系列データからモデルの作成、シミュレーションを行います。回帰モデル、指数モデル、ロジスティック回帰モデル(成長曲線)などです。	
■ 経営データベース管理	経営のためのデータベース活用方法の基本知識と技術を学びます。Accessによる商品・顧客管理、目的別クエリーの作成、レポートによる請求書等の作成、宛名ラベルの作成などです。	
■ マーケティングリサーチ	統計パッケージソフトSPSSを用いて、実践的なマーケティングリサーチの手法を学習します。	
■ 中小企業論	中小企業がおかれている経営環境などを中小企業白書をもとに学習していきます。	
■ 企業財務論	企業活動に必要な資金調達について、株式や社債を中心に学習します。	
会計科目	■ 新規事業開発	ベンチャービジネスなどの起業に関する事業機会を発見し、ビジネスモデルを構築します。
	■ 管理会計論	内部報告会計としての管理会計の理論と報告について考察します。企業の内部のマネジメントに対して、その意思決定に役立つ情報を提供することを目的としている管理会計のさまざまな管理手法を学習します。
	■ 監査論	近年、公認会計士による財務諸表監査に関わる問題が指摘されています。そこで、新聞等で報道された事例・事件を中心になぜそれが問題であるのか、また、監査とは何かについて学習します。
	■ ビジネス税務	企業の現場で必要とされる法人税などの税務について学びます。
	■ BATICI	米国における会計実務を学びながら、基本的な会計取引を英語で理解し、かつ英語による会計帳簿の記帳および管理ができるようにします。
	■ BATICII-III	米国会計基準の基本的な部分を理解し、さらに決算修正仕訳を作成して、英語による決算書を作成できるようにします。また日本基準によって作成された財務諸表を米国基準に組み替える技術も学びます。
	■ 資産運用設計	資産を効率的に運用するために必要な金融商品などについて学習します。
	■ ライフ設計	ライフプランに必要とされる社会保険制度などを学びます。
	■ 証券分析論	証券投資に必要な投資データの分析・評価とポートフォリオの構築と管理について学習します。
	■ 証券市場論	証券・金融市場に関する知識を広め、資産形成・起業の際に必要な知識を修得します。証券アナリスト試験に対応するための基礎科目です。
	■ 金融論	通貨とは何かからスタートして、日銀の金融政策を学習します。特に、インフレーションなど話題の論点を中心に解説します。
	■ ファイナンスの数理と実務	金融工学を理論と実務の双方の視点から学習します。
	■ 財務会計論	外部報告会計としての財務会計の理論と報告について考察します。企業の外部の利害関係者に適切な会計情報を提供するために財務会計のフレームワーク、基礎的前提、基礎理論等について学習します。
選択科目	■ インターンシップ	キャリア開発の一環として企業、公的機関、NGOなどで2週間程度の就業体験をします。
	■ キャリアサポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ	多様な領域で活躍する社会人から、仕事について・生き方について直接話を聞くと同時に、SPIなどで就職に向けた基礎力をつけます。
	■ オフィスワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ	現代のオフィスワークに必要な不可欠なワープロと表計算能力を養います。日商の検定試験合格者には所定の単位が認定されます。
	■ システムエンジニアリング	SE・プログラマ資格である基本情報技術者資格取得のための対策講座です。合格に向けての勉強の仕方やノウハウを解説します。
	■ システムアドミニストレーション	企業の中でのコンピュータ活用の要となるITパスポート試験突破のための対策講座です。
4年	■ 演習Ⅰ・Ⅱ	各自がゼミに分かれてテーマを設定、資料・文献調査、技術習得を通じて研究します。
	■ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	興味のあるテーマを選択し、まとめ、発表します。



コミュニケーション学科 マスメディアコース 科目一覧 【2009年度】

※下記は平成21年度開講予定の科目で、平成22年度以降、変更の可能性があります。

■ 必修科目 ■ 選択必修科目 ■ 選択科目

※デジタルテクノロジーコース、ビジネス情報コース、現代社会コースの科目を選択することもできます。また、人間生活学部の科目の中から履修できる科目もあります。

表現力向上	言語表現論	コトバを読む、書く、聴く、話すに関する、基本的な考え方を学習します。
	文章表現コミュニケーションI	少人数の授業で、毎回、論文、レポート、作文などを書き、添削します(構成、論法の習得)。
問題	文章表現コミュニケーションII	少人数の授業で、毎回、論文、レポート、作文などを書き、添削します(表現方法の習得)。
	音声表現コミュニケーションI	少人数の授業で、人の話を理解し、自分の考えを話し言葉で的確に伝える能力を磨きます。
時事	音声表現コミュニケーションII	報告・会議・発表など実践的な場で適切な表現ができるよう能力の向上を図ります。
	時事解説I・II	メディアが伝える多様な時事問題を、丁寧にわかりやすく解説します。
コンピュータ表現	ビジネス文書演習	企画書、稟議書、議事録など、ビジネスの世界で必要な文書の作成能力を身につけます。
	文章表現ワークショップI・II	資料収集・取材などをし、文章にする力を身につけます。
メディア表現	音声表現ワークショップI・II	インタビュー、ディベート、会議の進行などの状況を想定して実効性の高い表現力を養います。
	トレンド・ウォッチI・II	ファッションなどの流行や芸能、スポーツ、ドラマ、マンガなどのトレンド文化現象などをモチーフに、資料収集、発表、討論を行います。
現代社会	時事問題ワークショップI・II	学生自らが関心をもった時事問題を、自身で調べ発表し、質疑を受けるワークショップです。
	コンピュータプレゼンテーション技法	パワーポイントを利用した、効果的なプレゼンテーションのテクニックを学びます。
演習科目	コンピュータミュージックI・II	コンピュータを使った演奏、作曲、編曲などのテクニックを学びます。
	サウンド処理演習	言語音声などの音声データをコンピュータ上で、観察分析します。
生活	コンピュータグラフィックI	Photoshopを用い、デジカメの写真の編集などのテクニックを身につけます。
	コンピュータグラフィックII	Illustratorを用い、コンピュータでイラストを描くテクニックを身につけます。
環境保全	ウェブ・デザイン	魅力的なホームページの作り方を学びます。
	コンピュータアニメーション	コンピュータを利用したアニメーションやマンガの表現方法を学びます。
異文化	DTP演習	雑誌制作に不可欠な、レイアウトの編集用ソフトを使いこなします。
	ワークショップ	ひとつのワークショップを選択します。
男女共同	「マガジン制作I・II」	雑誌の成り立ちの基礎知識を学ぶとともに、実際に特集の企画立案から取材、執筆、原稿整理までを体験し、自分版雑誌の手づくりに挑戦します。
	「ラジオ番組制作I・II」	スクリプト、音響、DJなどの役割を分担し、ラジオ番組づくりに挑戦します。
地域家族	「ビデオ制作I・II」	カメラの回し方、編集ソフトの使い方を学びながら、ビデオ作品づくりに挑戦します。
	「身体表現制作I・II」	ダンスや演劇など、身体を使った作品づくりに挑戦します。
国際社会	コンピュータによるマガジン制作演習	「マガジン制作ワークショップ」のステップアップ編であり「DTP演習」への土台となる、コンピュータを使った雑誌編集のレイアウト技法を体験的に学びます。
	フォトビデオジャーナリズム演習	デジタルカメラやデジタルビデオなどを使って、ジャーナリスティックな画像を撮る理論と手法を身につけます。
システム	ラジオ番組制作演習	ラジオ番組を制作するのに必要な理論と手法を身につけます。
	映像編集演習	映像作品を制作するのに必要な理論と手法を身につけます。
システム	イベント・CM制作演習	イベントやCMの企画から制作までを実習します。
	情報倫理	名誉とプライバシー・ネット犯罪・著作権侵害・セキュリティなど情報社会の負の部分を検証しレクチャーを養います。
システム	映像女性論I・II	映画を通じて、女性の生き方を考えます。
	国際マスコミュニケーション論	外国のニュースやドラマが、国境を越えて視聴できる現代のメディア状況について考えます。
システム	グローバルジャーナリズム	ジャーナリズム活動がグローバル化する中で、真のグローバルジャーナリズムは可能かを考えます。
	放送ジャーナリズム	テレビ、ラジオといった放送メディアが行うジャーナリズム活動の特徴と問題点を具体的な事例を交えながら考えます。
システム	活字ジャーナリズム	新聞、雑誌といった活字メディアが行うジャーナリズム活動の特徴と問題点を具体的な事例を交えながら考えます。
	メディア産業論	メディアを企業体としてとらえ、その事業展開の歴史や今後の発展を考えます。
システム	コミュニケーションの心理学	人と人が意志の伝達をする場合の心理を考えます。
	マス・コミュニケーションの社会心理学	マスメディアが、社会集団に与える影響を考えます。
システム	メディア文化研究	ドラマや小説などに隠された、社会・文化的な背景を考えます。
	サイバージャーナリズム	インターネット時代のジャーナリズムの展開について考えます。
システム	ドキュメンタリー映像論	ドキュメンタリーのもつ映像のインパクトや制作のねらいや流れなどを考えます。
	エンターテインメント映像論	映画や、ドラマ、バラエティなど、人気のある映像作品はどのようにつくられるのかを考えます。
システム	メディア広告論	広告とマスメディアとの関係、広告がどのようなねらいでどのようにつくられるのか、などを考えます。
	漫画論	主に日本の漫画を題材に、漫画の文化史や漫画の内容分析法を学びます。
システム	演劇論A	現代演劇の傑作を厳選し、それらの舞台を具体的に分析、そこに隠れた魅力、意味を探ります。
	演劇論B	欧米の演劇表現の特徴と演劇文化を学びます。
システム	民俗歌謡の世界	日本の古典歌謡と、現在に伝わる民謡、あるいは東アジアの歌謡との比較を通して、歌謡の普遍性と特殊性について考えます。
	音楽とコミュニケーション	多彩なジャンルの音楽について考え、それが人間の感性に訴えることによって、どのようにコミュニケーションされているかを考えます。
システム	日本語学I	日本語とはどのような言語であるかを考えます。音声と音韻、語彙などです。
	日本語学II	日本語とはどのような言語であるかを考えます。文法、文字と表現などです。
システム	ことばの心的メカニズムA	人間の言語の特性、動物の言語との違い、母国語の習得、言語と脳、言語と社会・文化などさまざまな側面から「ことば」を考えます。
	ことばの心的メカニズムB	英語のリズム・イントネーションの特徴を学び練習します。
システム	ことばの心的メカニズムC	日本語と比較しながら、英語の単語の仕組み、文・意味の構造、文脈における使われ方などを、科学的に分析します。
	ことばの心的メカニズムD	英語の母音・子音の特徴を日本語と比較して学び母語話者に近い発音を身につけます。
システム	英米文学史	英米文学作品を英米の歴史をひもときながら解説し、体系的に英米文学を理解します。
	イギリス文学	現代イギリス小説を原書で読む楽しさを味わってください。作家研究、作品批評を通じて女性としての生き方を探究します。
システム	アメリカ文学	アメリカの文学作品(小説・戯曲)の原書を精読し、アメリカの言語表現を学び、作品研究します。
	感性文化表現A(手話)	非言語コミュニケーション手段のひとつである手話を学びます。
システム	感性文化表現B(朗読)	文芸作品などを効果的に読み聞かせる方法について学びます。
	ダンスパフォーマンスI	エアロビクス、ヒップホップ等、基本のエクササイズから体の各部位の動かし方を学び、リズムにのりながら楽しみながら身につけます。
システム	ダンスパフォーマンスII	いきいきと動く心と体をめざし、ジャズダンス、モダンダンス等、実践を通して感性豊かな表現力が楽しみながら得られます。
	教育とメディアA	学校におけるコンピュータ教育を多方面から考察し、それをふまえた漫画の表現を使用したわかりやすい操作マニュアルを作成してみます。
システム	教育とメディアB	テレビ番組の研究、制作実習等を通して「子どもとテレビ」について広く検証し、考察を深めます。
	児童文学論A	主に大正期から現代までの日本における童話の流れと作品研究をします。
システム	児童文学論B	グリムの「赤頭巾」はフランスのペロウが民話に取材した作品です。時代や国民性によって変化を見せるおとぎ話を研究します。
	児童文学論C	世界で一番多くの妖精が住んでいるといわれるイギリスを舞台とした、イギリス児童文学、中でもファンタジーについて研究します。
システム	児童文学論D	日本とイギリスの伝承童話の比較や、おとぎ話の国際比較と時代変遷を扱います。
	インターンシップ	原則として演習教員の指導のもとにテーマを選び、研究を行います。研究の成果を論文にまとめあげます。



コミュニケーション学科 現代社会コース 科目一覧 【2009年度】

※下記は平成21年度開講予定の科目で、平成22年度以降、変更の可能性があります。

※デジタルテクノロジーコース、ビジネス情報コース、マスメディアコースの科目を選択することもできます。また、人間生活学部の科目の中から履修できる科目もあります。

■ 必修科目 ■ 選択必修科目 ■ 選択科目

現代社会	現代文明とコミュニケーション	社会、政治、法律、経済など、現代社会に関する基礎的知識を学び、現代文明におけるコミュニケーションの発展、役割、問題点について検証します。
	NGO・NPOとコミュニケーション	開発援助から地域づくりにNPOやNGOの果たす役割は目覚ましいが、財政上、運営上の問題があります。どのような活動と運営のあり方が望ましいか検討します。
現代社会	異文化コミュニケーション	多様な文化におけるコミュニケーションのあり方や、異文化交流史、異文化適応について学び、多文化共生社会における望ましいコミュニケーションを考えます。
	国際政治論	アメリカのニューヨークテロ以来、国家と国家の関係が転機を迎えています。国際連合という組織、アメリカなどの大国、多発する国際紛争などについて学びます。
現代社会	国際協力論	国際機構の機能と役割、国際機関・国・NGOなどが行っている開発途上国を中心とした国際協力の現状、問題点、課題について検討します。
	現代社会生活動向分析I・II(時事解説I・II)	現代日本、国際社会における政治・経済・社会などの分野の重要なできごとや問題を取りあげ、その経緯や問題点、展望を解説します。
現代社会	オーラルコミュニケーション	ネイティブ・スピーカーによる少人数の授業で、日常英会話の基本を学び、英語での発語を実践し、正しい発音練習を行います。
	時事英語	英字新聞を読み、社会的な事件を考察したいと思います。新聞の構成を学び、記事への認識を深めます。
現代社会	生活と統計	暮らしに関する統計情報をパソコンで操作しながら、標本誤差といった統計の基本を学習します。
	情報倫理	情報社会には、便利さとともに危険も潜んでいます。情報社会を快適に生きる基本的知識とマナーを身につけます。
現代社会	社会調査技法I(量的調査)	世論調査、市場調査といった社会調査によって、社会現象を量的に把握する技術を学習します。
	社会調査技法II(質的調査)	人間、集団、社会についてより深く理解するため、インタビュー、観察などの技法を用いる調査について学びます。
現代社会	社会情報処理演習I	レポートを作成しながら、図表作成やプレゼンテーションといった学習に必要なパソコン技術を学びます。
	社会情報処理演習II	パソコンでデータベースをつくり、趣味やバイト、卒業論文や就職後にどのように活用していくかを学びます。
現代社会	消費者と法	現代の消費者は、情報化によって攻撃的な販売方法にさらされています。事業者への規制、消費者にはどのような権利があるのかを消費者法などを通じて学びます。
	デザインとコーディネート	コンピュータグラフィックによるファッションデザイン、住居デザインの実習です。日常生活の中からの自己主張を考えます。
現代社会	クオリティオブライフ研究	物の豊かさから心の豊かさへと、生活者の求める視点は変わりつつあります。このような視点から、より良く生きていく社会を構築するための課題を研究します。
	ユースカルチャー研究	ファッション、音楽、ダンス、ライフスタイルなどは、どのように生まれ、広まってきたのか、若者文化の生成・普及の過程を具体的な事例の検証を通して学びます。
現代社会	シニアカルチャー研究	人口の高齢化が社会生活にどのような構造的・質的変化をもたらしているのか、高齢者の視点から社会のしくみはどうあるべきかを考察します。
	フィールドスタディ「情報と生活」	インターネットの発達をもたらした生活の問題を、消費者問題のセミナーやプログラムへの参加、裁判所見学などを通じて学びます。
現代社会	消費生活と情報	消費者から企業や公的機関への苦情や相談は後を絶ちません。こうした消費者情報の収集と選択、消費者と企業の双方向的なコミュニケーションについて学びます。
	情報化社会と法	インターネットの発達など、情報化が私たちの生活に新たにおよぼす影響を具体的に分析し、望ましい人間コミュニケーションの姿に関連する法律を学びます。
現代社会	フィールドスタディ「少子高齢社会」	老人ホームや少子化に取り組んでいる地域のNPOを訪問し、ボランティアをしたりお話を伺いながら、少子高齢社会の望ましいあり方を考えます。
	少子高齢時代の社会保障	現在の学生が働き盛りになる2025年には、3人に1人が65歳以上になるといわれています。若年人口が高齢人口を支える年金などの社会保障システムについて検討します。
現代社会	少子高齢化と政治	少子高齢化に対し有効な政策はあるのか、その時に問題となる政治的課題は何かを考えます。
	フィールドスタディ「環境保全と生活」	環境保護についての国際的な取り組みを実践している企業やNPOで体験型演習をし、「自然と人間のコミュニケーション(自然との共生)」のあるべき姿を考えます。
現代社会	生活環境と経済開発	人口爆発や経済発展による環境汚染を防ぐための国際的な対策について調べ、「自然と人間のコミュニケーション(自然との共生)」のあるべき姿を考えます。
	生活環境にやさしい商品開発	エコジカルな製品開発を念頭に多くの商品に参考にし、素材や色・形による省エネ効果も学び、健康に良い製品・玩具も考えます。
現代社会	フィールドスタディ「生活と異文化」	高麗博物館見学、国際機関、NGO、大使館等300団体が出展するグローバルフェスタでのボランティア等、多彩な異文化体験から、これからの日本を考えます。
	地域生活と法政策	日本に滞在している外国人は200万人を超えています。すでに実際に共存している外国人に対する政策や法制度はどうなっているのかを学びます。
現代社会	グローバル化と生活	海外から日本に入ってきたり、日本から海外に出ていくモノ、アイデア、人間、組織などに注目し、それらがもたらす影響や生活の変化について考えます。
	フィールドスタディ「男女共同参画社会」	女性の活躍に21世紀の日本は成り立たません。行政、企業、地域における男女共同参画の取り組みについて、現場の視察や体験を通して学習します。
現代社会	ライフコースと生活設計	女性のライフコースパターンがどのように変化してきているか、その変化の要因は何なのか、ライフコース選択のメカニズムと女性の自立について考察します。
	政策決定とジェンダー	日本社会の課題「政治、経済、職場など社会の重要な領域の政策決定に女性が男性と対等に参画する」ための促進策を分析し、望ましい社会の姿を検討します。
現代社会	生活と情報法	情報法という言葉からは情報公開、個人情報保護などが連想されます。一方、情報法は知的財産権を念頭に置いた意味にも使われます。情報社会の一面を考えます。
	民法の基礎	社会生活は、他人と関わることで成り立ち、それは、契約であったり、迷惑行為だったりします。「法的な人との関わり」に最も関係の深い「民法」の基礎を学びます。
現代社会	生活と情報経済	電子マネー、電子商取引、インターネット広告などが生活経済に与えた影響と対処・対応方法を探ります。
	生活経済	消費生活に関わる基礎知識と情報の活用法を学びます。家計のしくみ、生活設計、変化する生活経済などについて学びます。
現代社会	消費者問題	消費者問題および消費者活動においてわが国および欧米の歴史と現状、企業の社会的責任と消費者対応、消費者教育(学校・企業・行政)について学びます。
	生活と議会政治	現在の議会はどのような形で政策決定を行っているのかを見ていきます。具体的事例や日本の国会などを題材に政治について考えていきます。
現代社会	生活と食文化	食を文化の視点でとらえ、世界の食習慣、食べ物、食作法を比較・検討します。食と社会と人間の関係を考えていきます。
	ユニバーサルデザイン	高齢者、障がい者、子ども、女性などに優しい生活環境の研究を通じ、人間と機械・器具との望ましいコミュニケーションの姿を考えます。
現代社会	生活とボランティア活動	ボランティア活動が、介護活動をはじめ社会の多方面で重要性を増しています。ボランティア活動の歴史・実態を分析し、望ましいあり方を考えます。
	生活とコミュニティ	地域社会における祭礼や伝統文化の継承などの「地域コミュニケーション」の事例分析から、少子高齢社会におけるコミュニティの変化を探ります。
現代社会	結婚と家族	現代社会においては、未婚・晩婚化、少子高齢化、性別分業の見直しといった家族生活の変化が顕著です。こうした結婚や家族をめぐる現象について学びます。
	家族と法律	家族関係にも法ルールの適用があり、家族関係を規律する法とはどのようなものなのか、また少子高齢化社会における家族の法的問題の特徴について学びます。
現代社会	キャリア開発と生活プラン	新しい仕事・働き方にチャレンジする現代女性のキャリア開発について、さまざまな事例・人物研究を通して探っていきます。
	地球とエコシステム	世界水会議、環境会議などの取り決めなど国際的な環境保護について検討し、「自然と人間のコミュニケーション(自然との共生)」のあるべき姿を考えます。
現代社会	ジェンダーと開発	教育、メディア、女性に対する暴力、経済活動など開発途上国の女性たちのさまざまな実態を学び、日本女性の実態と比較、開発援助のあり方についても検討します。
	北アメリカとヨーロッパ地域研究概論	宗教、政治・経済、文化的にも多様なアメリカ、ヨーロッパ地域についてその共通点、相違を検討すると同時に国際社会におけるこれらの国々の役割を考えます。
現代社会	日本とアジアの地域研究概論	アジアには世界総人口の3分の2が住んでいます。宗教、政治・経済・文化的にも多様な地域アジアについて、女性の地位、社会などを中心に比較検討します。
	宗教と社会	宗教という文化現象について、その構造、社会や個人に対する機能、人々の宗教意識に焦点をあてて考えます。
現代社会	インターンシップ	原則として演習教員の指導のもとにテーマを選び、研究を行います。研究の成果を論文にまとめあげます。
	キャリアサポートI・II・III	キャリアサポートI・II・III
現代社会	オフィスコンピューティングI・II・III・IV・V・VI・VII・VIII	オフィスコンピューティングI・II・III・IV・V・VI・VII・VIII
	システムエンジニアリング	システムエンジニアリング
現代社会	システムアドミニストレーション	システムアドミニストレーション
	原典講読	演習のテーマについて、テキストを精読します。
現代社会	演習I・II	「家族をめぐる社会調査」「比較文化」「ジェンダー論」「民法」「政治・政策」「環境保全」といった領域からテーマを選択し、少人数のゼミ形式で学びます。
	卒業研究I・II	演習をもとに、興味のあるテーマを選択、まとめ、発表し、卒業論文に仕上げます。

社会情報学部